

# Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2015年3月24日

## ★為替・金利の動向

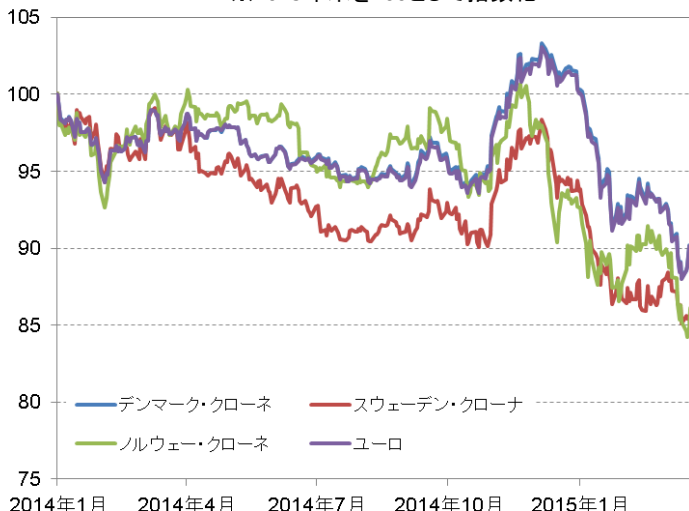
対円レート推移  
(2015年3月6日～2015年3月20日) ※単位は円

	3月6日	3月13日	3月20日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	15.28	14.79	14.97	-2.0%
スウェーデン・クローナ	14.27	13.92	13.92	-2.5%
デンマーク・クローネ	17.58	17.08	17.42	-0.9%
ユーロ(フィンランド)	131.00	127.42	129.88	-0.9%

北欧4か国通貨は、上記期間中は対円で下落しました。米原油在庫の急増を受け、北海プレント先物価格が下落したことから、ノルウェー中銀による追加金融緩和策実施への期待が高まり、ノルウェー・クローネは対主要通貨で下落しました。

スウェーデン中央銀行はインフレ・ターゲット達成の障害となるスウェーデン・クローナ高防止の為、政策金利の引き下げと追加の量的緩和を実施を公表しました。これを受け、スウェーデン・クローナは対主要通貨で下落しました。

対円レート推移  
(2014年1月1日～2015年3月20日)  
※2013年末を100として指数化



出所:ブルームバーグデータをもとに当社作成

銀行間取引金利3カ月物推移  
(2015年3月6日～2015年3月20日) ※単位は%

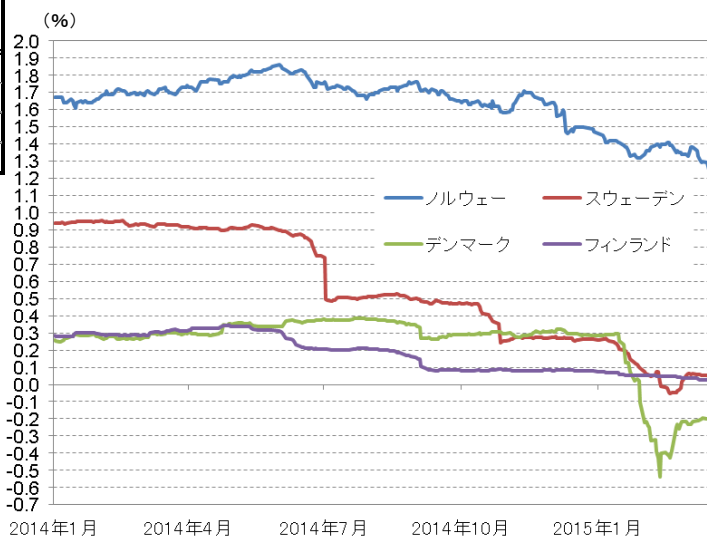
	3月6日	3月13日	3月20日	期間中変動幅
ノルウェー	1.380	1.300	1.450	0.070
スウェーデン	0.061	0.051	-0.087	-0.148
デンマーク	-0.215	-0.198	-0.168	0.047
ユーロ圏(フィンランド)	0.036	0.025	0.021	-0.015

上記期間はノルウェー、スウェーデン、デンマーク、ユーロ圏の銀行間取引金利はまちまちの動きとなりました。

周辺諸国、地域で相次ぐ金融緩和策の導入を受け、市場では、ノルウェーもこの動きに追随するとの見方が大勢でしたが、ノルウェー中銀は今回の政策金利引き下げを見送りました。これを受け、政策金利引き下げを織り込みつつあった、ノルウェー銀行間取引金利は上昇しました。

スウェーデンでは、スウェーデン・クローナ高を防ぐべく、政策金利の引き下げと追加の量的緩和実施が発表されたことに伴い、短期金利が低下し、銀行間取引金利も低下しました。

銀行間取引金利3カ月物推移  
(2014年1月2日～2015年3月20日)



出所:ブルームバーグデータをもとに当社作成

### 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年3月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

## ☆北欧ニュース

### <ノルウェー中央銀行、追加利下げを見送り>

ノルウェー中央銀行は、昨年12月に行った政策金利引き下げにより、物価下落が及ぼす同国経済への悪影響はひとまず回避できたとして、政策金利の据え置き(1.25%)を決定しました。欧州各国・地域で相次ぐ追加利下げ、金融緩和の動きから、市場では同国でも政策金利の引き下げ(1.25%→1.00%)が行われるとの予想が大勢でした。ただし、同中銀のオルセン総裁は今後の政策金利引き下げについて、明確には否定しておらず、原油価格動向やノルウェー雇用市場の動向等を見極めた上、次回5月7日の中央銀行会合の場で政策金利の引き下げを決定するとの見方が強まっています。

### <デンマーク中央銀行、当座預金への預け入れ上限を引き上げ>

デンマーク中央銀行は18日、市中銀行による中央銀行の当座預金(無利息)への預入上限を370億ノルウェー・クローネから1,450億ノルウェー・クローネまで引き上げました。市中銀行は預入上限を超える資金については、年利0.75%のマイナス金利で発行される譲渡性預金証書を保有することになっています。市中銀行の資金保有にかかるコスト圧縮の必要性から、同中銀は現状の金融政策維持と市中銀行の負担軽減を両立できる手段を模索していました。

### <スウェーデン中央銀行、更なる金融緩和策導入を決定>

スウェーデン中央銀行は18日、政策金利であるレポ金利をマイナス0.1%からマイナス0.25%まで引き下げ、同中銀が行う国債購入の規模を100億スウェーデン・クローナ相当から300億スウェーデン・クローナ相当に拡大しました。スウェーデンのインフレ率は底打ちの兆しを感じられるものの、対主要通貨でのスウェーデン・クローナの上昇がスウェーデン国内景気の回復に水を差す可能性が懸念され、今回の中銀の決断に至りました。

### <ノルウェー政府年金基金による欧州資産への投資比率が低下>

ノルウェー政府年金基金は、2012年のノルウェー政府の決定に基づき、欧州資産への投資比率を低下させる一方で、北米やアジアといった欧州よりも高い経済成長が期待できる地域への投資を増加させています。同基金の2014年末時点の年次レポートでは、総資産に占める欧州資産の比率は40%を割り込み、北米は39%、アジアは18%に達していました。同基金の資金運用を担当するノルウェー中央銀行インベストメント・マネジメント(NBIM)は、2013年に中国A株の適格外国機関投資家取引枠(QFII枠)を15億米ドル相当分まで増枠するなど、中国を中心にアジアへ積極的に投資する方針を明らかにしています。

出所:各種資料をもとに当社作成

\* 上記は文中に登場する企業等に関連する特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

#### 【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年3月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。